

平成筑豊鉄道



田川線下りの赤駅周辺の風景。タイミングが合えば、菜の花と山桜のグラデーションが楽しめる



改修中の田川伊田駅。駅と直結した宿泊施設や観光案内所を設置し、新たな観光拠点に生まれ変わる(平成31年4月完成予定)

**まちと里山をつなぐ鉄道
車窓に広がる日本の原風景**

平成筑豊鉄道は、直方駅から田川伊田駅までを走る「伊田線」、金田駅から田川後藤寺駅までをつなぐ「糸田線」、そして、行橋駅から田川伊田駅までを走る「田川線」の全長49.2キロの路線を運行しています。明治26(1893)年の開通時は、日本の近代化を支えた石炭を輸送する鉄道に使用されていました。平成元(1989)年に、平

「へいちく」は、主に通勤、通学の手段として地域で親しまれています。朝夕の利用者が多い時間帯には、15〜20分に置きに運行しています。そうした中、新たに、地域の魅力を楽しまることができる観光列車の運行が始まりました。それが、沿線の農産物が主役のフランス料理を味わえるレストラン列車「ことごと列車」。「ゆっくりにおいし・楽しい」をコンセプトにした「ことごと列車」の愛称には、「祭事、物事、人事」を乗せてゆっくりに走り続けるイメージが込められています。車両をデザインしたのは、日本の観光列車ブームの火付け役、JR九州のクルーズトレイン「ななつ星

**ゆっくりにおいし・楽しい列車
「ことごと列車」デビュー**

成筑豊鉄道がJR九州から事業を引き継いだ後も、ディーゼルエンジンを動力源とした車両が走り続けています。経営企画室長の伊藤英彦さんは「区間によっては、里山と呼ぶにふさわしい風景の中を走ります。まさに、日本の原風景を感じることが出来る景色に出会えます」と、路線の魅力を教えてくれました。



数多くの列車デザインを手掛ける水戸岡鋭治さん(左)と小川知事

in九州」を手掛けた水戸岡鋭治さん。沿線の豊かな緑や青い空を車体に映し出す深紅の車体。車内は天井のステンドグラスから柔らかな光が注がれ、穏やかに包まれます。また、ついたてには、大川市の伝統工芸品「大川組子」が使用されており、木のぬくもりを感じられるなど、日常から離れた旅を楽しむのにふさわしい豪華なデザインです。



「ことごと列車」の内装。高級感ある内装に仕上がっており、ぜひたくな雰囲気の旅が楽しめる



「列車でふくおかさんぽ」の第4回目は、「へいちく」の愛称で地域の方々に広く親しまれている平成筑豊鉄道です。四季折々に美しい自然が広がる車窓の風景を生かした「観光列車」もご紹介します。

**120年の歴史を乗せて
新たに走りだす**

第4回平成筑豊鉄道



3月21日運行開始!

観光列車「ことごと列車」は、車窓の景色とフレンチのコースをおよそ3時間のクルーズで、ゆっくりに満喫できます。

JTB九州 MICEサポートセンター
☎092-751-2102
☎9時30分～17時30分
☎土・日曜日、祝日



鉄道写真家 福岡啓和さん

平成筑豊鉄道 経営企画室長 伊藤英彦さん

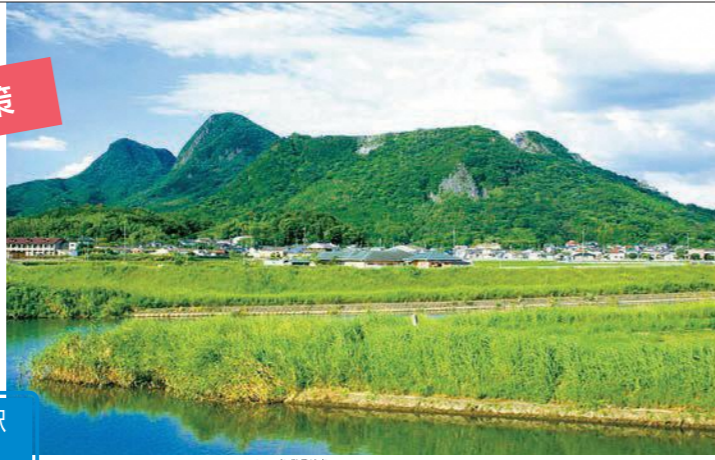
旅先案内人

横半分に切り取られた香春岳
かわら
香春岳

田川を象徴する景色の一つ「香春岳」。遠くから見ると形がコニクなことでも知られています。全体が純度の高い石灰石できちり、それぞれ一ノ岳、二ノ岳、三ノ岳と呼ばれています。一ノ岳は採石により、元の半分ほどの高さにまで削られています。

☎香春町香春
☎0947-32-8406 ファクス0947-32-4815
(香春町役場産業振興課)

散策



勾金駅
周辺

いづきのおとよ 五木寛之の小説「青春の門」の中にも描かれている香春岳

歴史



明治43年に「筑豊石炭鉱業組合」の会議所として建てられた

☎直方市直方692-4 ☎9時～17時(入館は16時30分まで)
☎毎週月曜日(祝日の場合は開館)、12月29日～1月3日
☎☎ファクス0949-25-2243

炭鉱の歴史を後世に伝える記念館
直方市石炭記念館

直方駅
周辺

明治初期から約100年にわたり、8億トンもの石炭を産出した筑豊炭田。日本の産業発展や近代化に大きく貢献した歴史を伝えています。館内には炭鉱の模型や採炭に使われた機械器具などを展示。屋外には石炭輸送に活躍した蒸気機関車などの実物も。

グルメ



庶民の味として広く知られる

直方駅
周辺

直方のB級グルメといえばこれ!
焼きスパ

かつて庶民の味として親しまれていた「焼きスパ」は、元々はケチャップのきいたナポリタンを焼いた、市内のとある喫茶店の独自メニュー。閉店後、幻の味となっていた焼きスパですが、市民から懐かしむ多数の声や、「焼きスパ広め隊」の活動を追い風に、直方のB級グルメとして人気が再燃しています。

☎直方市内の各飲食店
☎☎0949-28-8135 ファクス0949-28-8136
(直方市観光物産振興協会)

文化

ふれあい生力駅
周辺



カフェコーナー「としょパン」で一休み

幅広い世代の憩いの場
ふくちのち

平成29年3月に開館した、福智町図書館・歴史資料館「ふくちのち」。旧赤池町役場を改装した建物で、色々なアイデアが詰まった館内には、ゆっくり一息付けるカフェスペース「としょパン」や「ものづくりラボ」など楽しめる工夫が凝らされています。静かに集中して過ごしたい方には、旧町議会議場の「サイレントルーム」のご利用も。

☎福智町赤池970-2
☎10時～19時 ☎毎週火曜日、毎月1日
☎☎0947-28-2855 ファクス0947-28-2866

町外からの利用者も
多く見られます



「ふくちの“知”と“地”が
交わる場所」がコンセプト



読書通帳で読んだ本を記録できるサービスも。読書をもっと楽しく!

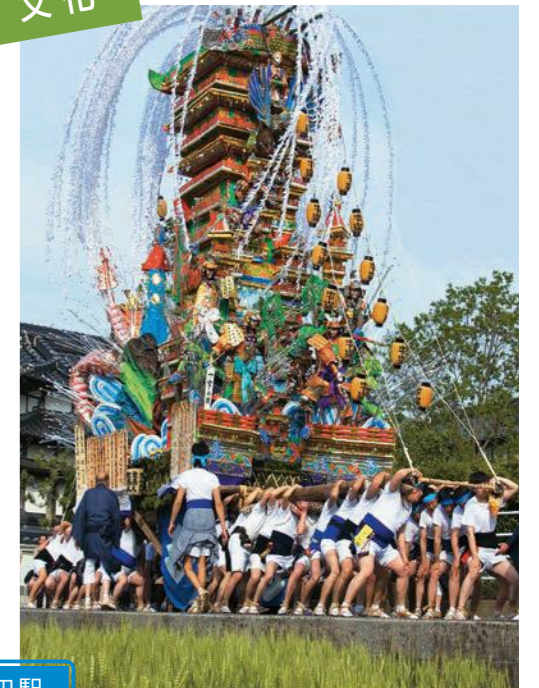
沿線自慢

平成筑豊鉄道沿線の
周辺スポット



直方市、田川市、
行橋市を結ぶ平成筑豊鉄道。
車窓から見える豊かな自然に
思いが膨らみます。

文化



「エンヤヤッサ、コラヤッサ」と
独特の掛け声がこだまする

糸田駅
周辺

威勢のいい掛け声に合わせて
糸田祇園山笠

300年以上の歴史をもつ糸田の伝統行事。豪華絢爛な飾り山笠は、高さ最大9メートル、重さ2トン以上になるものもあり、男たちが山笠を担ぎ町を練り歩く様子は壮観です。

☎糸田町
時期 毎年5月の第2土・日曜日
☎☎0947-26-4025 ファクス0947-26-1651
(糸田町役場地域振興課)

散策



春には約1000本の桜が咲き誇る

行橋駅
周辺

桜が香る春の川辺
今川河畔の桜

英彦山を源流に、市内を横断して流れる今川。河畔は市民公園として整備され、遊歩道が設けられるなど、ふるさとの川として市民に親しまれています。

☎行橋市中央1(今川河畔)
☎☎0930-25-1111 ファクス0930-25-7817(行橋市商業観光課)

鉄道写真家 福島啓和さんが教える
ナイス! レールショット



☎撮影場所: 嘉麻川橋梁(あかぢ駅 徒歩10分)

レンガ造りの橋脚や橋台は、明治時代、田川方面から北九州方面へ石炭を搬出するために造られ、今も利用されています。当時の風景を想像しながら撮るとより撮影が楽しくなります!



路線の歴史も
楽しめる!